

発行 度会町 編集 総務課 印刷 文化印刷有限公司



(一之瀬小学校)

町のうごき

人口 男	4,281
女	4,470
計	8,751
世帯数	1,946
出生	6
死亡	6
転入	19
転出	14

52.7.1 現在

交通安全教室

正しい自転車の乗り方や

横断歩道の歩き方を学ぶ

夏の交通安全事故防止運動が展開されていますが、町内の内城田小学校、一之瀬小学校では、夏休み期のこどもの交通事故防止と交通道德を身につけるため、六月二十九日と七月十九日にそれぞれ交通安全教室を開きました。

両学校とも全児童を対象に伊勢警察署交通課員、巡視員、町内警察官らの協力を得て交通安全のお話しをきいたあと、低学年は、横断歩道の歩き方や安全な通行などを、高学年は、正しい自転車の乗り方などを、信号機や標識を使って一人ひとり指導をうけ、正しい交通安全の知識を身につけ成果をあげました。

“やめようね、とびだし、かけだし、道路のあそび”

平生、葛原簡易水道 国民年金積立金

還元融資事業で建設

平生、葛原両地区の簡易水道施設の起工式は、六月二十九日、平生観音堂前、葛原宇黒土地内（配電盤室）において、伊勢保健所長をはじめ、町長、議長、工事関係者、地元関係者ら約三十名が出席して行なわれました。

この両地区は、従来井戸水を飲用し、湯水時には満足な水量も得られず生活用水にことがいていたことから、水道布設が計画されました。

計画によると平生簡水は、給水区域は平生区で、計画給水人口三七三人、一日最大給水量九三、二五トン、水源は国東山の霧間谷川から取水し、これより六〇〇メートル下流の宇大峰地内に配水施設を築き、ろ過して、配水管（本管）総延長一〇〇九メートルで各家庭に給水する自然流下方式です。

人口二六〇人、一日最大給水量六五トンで、水源（葛原字下倉）から配電盤室（宇黒土）へ送水、減菌して配水施設（宇岩谷）まで、一六四五メートルの送水管でポンプアップして配水管により各家庭へ給水する計画です。

工事には、伊勢市の（株）神都水道が三千八百八十万円で施工し、総事業費四千五百三十二万九千円で完成する予定です。

なお、両簡水施設とも、みなさんが積立てられた国民年金の還元融資をうけてつくれるもので、完成は、本年十一月末の予定です。

平生、伊勢市の（株）森組が四千五百万円で施工し、総事業費四千九百九十一万九千円で完成する計画です。

また、葛原簡水では、葛原区を給水区域とし、計画給水人口二六〇人、一日最大給水量六五トンで、水源（葛原字下倉）から配電盤室（宇黒土）へ送水、減菌して配水施設（宇岩谷）まで、一六四五メートルの送水管でポンプアップして配水管により各家庭へ給水する計画です。



写真は葛原簡易水道起工式

交通事故防止を願って



幼児の交通安全クラブを結成



棚橋保育所

このたび棚橋保育所に、幼児交通安全クラブが組織されました。その給成式が、七月四日（月）棚橋保育所で行なわれました。

当日は、県交通安全課の齋藤主査をはじめ、伊勢警察署交通課長石倉氏、高柳氏、それに町長、棚橋保育所の母親と子ども達、約八十名が参加し、午後一時三十分から行なわれました。

高橋保育所長の結成までの経過報告のあと、町長さんの挨拶、齋藤主査の交通安全における母親の役割などお話しをきいたあと映画「手をつなぐお母さん」をみて、母親らの交通安全への取り組みを学びました。

引継ぎ、伊勢警察署交通安全クラブのおまわりさんや棚橋保育所幼児交通安全クラブ会長中村卓代さんから役員の指導により、母親と子どもらと一緒に、交通安全の歌「赤青黄いろ」や交通安全体操をはじめ模擬横断歩道での正しい歩き方、信号機の見方などを実施に学び成果をあげました。

なお、この幼児交通安全クラブは、本町でははじめて組織されたもので、幼児と母親が一体となって交通安全のきまりを身につけて実行するとともに、交通事故から幼い命を守り、また地域住民の交通安全意識の高揚をはかることを目的として結成されました。

県下では、すでに四十九組が結成されており、

交通安全番組を見よう

- ▼三重テレビ（毎週火曜日）
 - 午後6時15分～6時30分
- ▼放送日とテーマ
- （八月）
 - 2日 釣り客の事故（42号）
 - 9日 暴走問題
 - 16日 交通遺児問題
- （九月）
 - 6日 幼児の安全教育
 - 13日 老人の事故防止
 - 20日 秋の交通安全運動
 - 27日 まとめ
- 23日 交通巡視員警察官の声
- 30日 市町村の活動（鈴鹿）

参議院議員総選挙終る

投票率

地方区 六五、九三%
全国区 六五、九一%

第十一回参議院議員通常選挙の投票は、七月十日(日)町内九投票所で一斉に行なわれました。

当日は、午前七時から投票が行なわれ、出足はにぶりがちでしたが、それでも午前十時現在では、第一投票所(注連指公民館)で、五四、二二%と町内投票率二七、三三%を軽く突破、六カ所がこれを上廻る順重なすべりだしでした。

投票は、午後六時閉鎖されましたが本町の投票率は地方区六五、九三%全国区六五、九一%でした。

また、開票は、午後七時三十分から町役場で順次行なわれ、午後十時には地方区が、同十二時には全国区が、それぞれ終了し、地方区の開票結果は、投票総数四、一四七票(有効投票四、〇〇八票、無効投票一三九票)でした。

本町の各候補者別得票数(地方区)

候補者氏名	党派	得票数
1 松原和夫	日本共産党	117票
2 くぼた藤磨	自由民主党	1,396票
3 田中さとる	新自由クラブ	1,058票
4 坂倉とうご	日本社会党	1,437票
投票総数		4,147票
有効投票		4,008票
無効投票		139票
投票率		65.93%

福祉年金の支払月が

かわりました。

福祉年金の支払いは、受給者のみなさんからの、お盆や年末に払って欲しいという要望に応じて、四月、八月、十二月に支払うよう改められました。

しかし、ことは、途中からの改正です。つぎのうちに支払われます。

◎昭和五十二年五月から昭和五十二年八月の四ヶ月分を九月六日から支払われます。

国民年金の保険料を

忘れずに納めましょう

国民年金の保険料を忘れずに納めておりますが、納め忘れないか、今一度たしかめてください。

国民年金は、老後の生活安定だけではなく、けがをしたときなどにも年金が支給されます。

もし、保険料を納付期限までに納めていないと、万一思いがけない事故にあっても、障害年金や母子年金が受けられない場合があります。また、保険料を納めないま

◎昭和五十二年九月から昭和五十二年十一月の三ヶ月分を十二月十一日から支払われます。(一ヶ月少ない三ヶ月分となります。)

ただし、十二月支払分は、希望により十一月十一日から受けとることが出来ます。

◎昭和五十二年十二月から昭和五十三年三月の四ヶ月分を昭和五十三年の四月十一日から支払われます。



これから盛夏、水への関心がいつそう高まってきました。水は生命のもと、人体を構成している諸成分のうち水分の割合は、実に六十五%といわれまから人間様もまるで半分過ぎは、水の固まりの動物といえそうです。山仕事または長道を歩いたり、山を登ったりして休んだときに飲む「一杯の水」のうまさは格別で、こんなとき水には味があるものだと思つてつくづく思う。

ところで飲み水に限ってですが、うまさ、まづさの地域によりたいへん差があります。

水についての1人ごと

協出 奥村 栄一

無職 63歳

ますと、雨の少ない砂漠地帯の中近東アフリカの国々で、このあたりの水たるや赤く濁り塩分を含んでをり、そのうま味も臭いとあつてはこれに飲めずかと思ひ、しかも量も乏

「手に汲めば、涼味滴る、岩清水」次回は、奥村さんのご指名により奥本美登里さん(小川)にお願する予定です。

さてわが日本の水はどうかとなると、酒でいうと特級だったものが汚染されて、残念ながら一級並に低下してきたといえそうで、もうこのあたりでみんなこれ以上汚さぬよう努力して、天与の恵みの水、生命の水を守ってゆかねばとの心構えをすべきときだと思ひます。

わたしのように、以前長い期間海上生活をやり、世界のいろいろな国の水を飲まされてきた経験からいえることは良質の水どころが意外と世界広しといえど少ないことです。最も悪い水の例をあげてみ



お知らせ板



自賠責保険の一部が

改正されました

昭和五十二年四月一日以降発生した自動車事故から、自賠責保険の処理が一部改正されました。

●賠償金の限度(死亡二五〇万円、傷害一〇〇万円等)

●休業損害の最低保障日額が二、五〇〇円、最高限度が日額九、〇〇〇円となりました。

●入院時に近親者等が付添ったときの保障(看護料)が、一日二四〇〇円になりました。●入院雑費が一日定額五〇〇円となりました。

▼葬儀費が三〇万円。
▼死亡した者の損害を計算するときの、年令別平均給与額(平均月額賃金)が引上げられました。

これは、死亡した人の損害計算上重要な項目ですが、被害者(遺族)に有利になりました。

くわしくは、四日市市諏訪町四の一、東京海上ビル四階 社団法人、日本損害保険協会 四日市自動車保険請求相談センター(☎〇五九三〇五九四六)へ、ご照会ください。

一一九番の要請に

ご協力を

度会中川局の電話が七月二十七日午後二時から、ダイヤル式に切替えられたことに伴ない、出火、救急出動要請の「一一九番」(専用電話)について、他地区も含めて、みなさんのご協力をいただきたくお知らせします。

▼一一九番は、火災、救急の専用電話です。他の用件は加入電話(〇五九六〇二六一)をご利用願います。

▼一一九番のかけ方
(一)ダイヤル式電話の地区(内城田局、中川局)からは

防犯協力者に

中山勝一氏

このほど、本町の中山勝一氏(注連指)は、伊勢地区防犯協会長から、防犯一般協力者として表彰されました。

中山氏は、地域住民の犯罪の予防に深い理解と情熱をもってあたり、防犯思想の普及高揚につとめられ、また、各種団体の活動を通じて、青少年の非行防止活動にもよく協力し広く防犯活動の推進に寄与された功績により表彰されたものです。

駐在所だより

行くえ不明者を

相談所の開設

身元がわからず、無縁墓地でさみしく眠っておられる方は、年々増え、昭和五十二年五月末現在、全国で二五三七八人、三重県でも三四八人の多きにはなっています。

三重県警察では、このような不幸な方々の身寄りをさがすため、八月中「身元のおわからない死者の身寄り」をさがす運動」を行ないます。

●家出して自殺するおそれのある人
●長い間、たよりのない人、
●病氣などを苦にして家出した人

若宮由佳 信生 長女 大野木

戸籍の窓

おめでた

○六月中に届出のもの

氏名 父名 続柄 字名
小谷有里 公昭 長女 田口
浦田喜章 秋生 二男 大久保
福井直樹 久富 長男 大野木
西村安代 辰美 長女 大野木
荻田考史 寅 二男 栗原

おくやみ

○六月中に届出のもの

氏名 年齢 字名
西村文 72歳 和井野
尾崎友吉 82歳 上久具
山下はなゑ 80歳 柳
西井すが 74歳 上久具
門野善藏 86歳 脇
田間 65歳 出

区分	日	時	場所
移動相談所	8月15日(月)、16日(火)	午前10時～午後6時	四日市々諏訪栄町 四日市市少年補導センター(諏訪公園内)
	8月18日(木)、19日(金)	午前10時～午後6時	松阪市京町 松阪警察署 松阪駅前警察官派出所
常設相談所	年じゅう(平日)午前9時～午後5時 (土曜日)午前9時～正午		三重県警察本部鑑識課 (県庁3階) ☎26-2111(内線395)

でんでん

大切な時間

大切なエネルギー

おでかけになる前に、ほんとうにわざわざ行く必要があるかどうか、電話で済ませられないかどうか、もう一度考えてみてください。

はぶけるものは、できるだけはぶく……いま改めて考えたいものです。

電話をかける
心をかける
(伊勢電報電話局)